

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-114	Year Month Day Time 2008 年 5 月 5 日 13 : 45
場 所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB
明成	( 23 1st 13 15 2nd 19 11 3rd 20 13 4th 20 OT )	延岡学園
62 ●		72 ○

主審:Referee 上田 信彦 岩手県  
副審:Umpire 小野寺 浩 秋田県

テーブル・オフィシャル:Table officials  
能代高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	藤井 則希	CAP	7	1	2	0	1	4	×	内村 祥也	CAP	0	0	0	0	0
5	/	佐藤 文哉		9	3	0	0	4	5	×	シダット ジョーラ		27	0	10	7	1
6	×	石川 海斗		12	1	3	3	1	6	×	和田 力也		24	2	7	4	3
7	/	菅原 浄		0	0	0	0	0	7	×	永吉 佑也		8	0	4	0	2
8	/	松澤 大晃		0	0	0	0	0	8	×	川元 崇史		8	2	1	0	3
9	×	小野 大貴		18	2	5	2	2	9	/	横瀬 孝樹		5	0	2	1	3
10		高田 歳也		-	-	-	-	0	10		曾根田 夏樹		-	-	-	-	0
11		圓山 慧		-	-	-	-	0	11		湯地 寛文		-	-	-	-	0
12	/	菊地 大		0	0	0	0	2	12		大坪 将太		-	-	-	-	0
13	×	畠山 俊樹		4	0	2	0	2	13	/	長谷場 祐二		0	0	0	0	0
14	×	新妻 一輝		10	0	5	0	5	14		中村 友哉		-	-	-	-	0
15	/	宮澤 耀佑		2	0	1	0	3	15	/	エリマン アイ		0	0	0	0	0
16		杉本 健将		-	-	-	-	0	16		宇治橋 真悟		-	-	-	-	0
17		安藤 誓哉		-	-	-	-	0	17		中小路 拓		-	-	-	-	0
18		我妻 典明		-	-	-	-	0	18		西口 直哉		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		北郷 純一郎						
アコチ		細野 真							アコチ		内村 昌弘						
合 計				62	7	18	5	20	合 計				72	4	24	12	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、スタートから両チームとも2分間得点が無い。しかし明成#6石川の得点からゲームが動き始める。延岡学園がインサイドで得点、対する明成は#9小野、#13畠山が得点を重ね、9-4で明成リード。ここで、延岡学園はゾーンディフェンスにチェンジ。しかし流れはあまり変わらず、明成は#9小野の得点、#13畠山の3P、#4藤井の速攻で得点を重ねる。一方、延岡学園は#8川元の3P、#7永吉のゴール下のシュートで追い上げる。しかし、残り1分を切り、明成は#15宮澤のゴール下と#5佐藤の3Pでリードを広げ、第1Qは23-13で終了。

第2Q、明成はマンツーマンにディフェンスを変える。延岡学園は、#5シダット、#7永吉の高さとパワーを生かしディフェンスを崩しにかかる。明成はパスをすばやく回しアウトサイドシュートを狙うが、なかなか得点が伸びない。残り3分から明成は#14新妻、#9小野を中心に得点。一方、延岡学園は#8川元、#5シダットが得点を重ねるが、明成の10点リードは変わらない。しかし残り2分を切り、延岡学園が#5シダットのゴール下のシュートと#6和田の3Pで徐々にリードを縮め、38-32と明成の6点リードで前半終了。

第3Q序盤、明成#14新妻が4つ目のファウルでベンチに下がる。ここから延岡学園は徐々にリバウンドを支配し始め、#5シダットのゴール下のシュート、#6和田のドライブからのシュート、#8川元の3Pで一気に逆転する。しかし、明成は#9小野がファウルを受けながらもシュートを決め、再逆転する。その後、両チームともに3Pを決めあうシーソーゲーム。しかし残り3分を切ったところで延岡学園は大切なフリースローを3本続けて外してしまう。明成は#4藤井が3Pを決めリードを広げにかかるが、残り1分を切り、延岡学園#6和田がドライブからバスケットカウントを決め49-49の同点とする。さらに残り40秒、延岡は#5シダットが連続で得点をあげ逆転。49-52で延岡学園が3点リードして第3Q終了。

第4Q、延岡学園は依然としてインサイドを支配し、#7永吉のシュートで5点差に広げる。一方、明成もフリースローを2本決め、3点差に戻す。残り8分から延岡学園はディフェンスで流れをつかみ、#5シダットのゴール下のシュート、#6和田のジャンプシュートで点差を7点とする。残り5分、明成がタイムアウトを取るが流れは変わらず、延岡学園は#6和田のジャンプシュート、#5シダットのシュートで9点差に広げる。ここで明成は再度タイムアウトをとり、#14新妻のジャンプシュート、#5佐藤の3Pで追いあげを見せるが、残り1分10秒、延岡学園#6和田がレイアップを決め10点差となる。ここで明成が最後のタイムアウトを取るが点差は縮まらず、62-72で延岡学園が勝利、優勝を決めた。